



平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年3月31日

上場取引所 東

上場会社名 (株)クラウドディア

コード番号 3607 URL <http://www.kuraudia.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 倉 正治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 鳴尾 好司

TEL 075-315-2345

四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日

配当支払開始予定日

平成28年5月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第2四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	6,692	7.4	174	—	197	338.7	10	—
27年8月期第2四半期	6,231	△14.3	4	△98.8	45	△89.5	△15	—

(注) 包括利益 28年8月期第2四半期 △29百万円 (—%) 27年8月期第2四半期 200百万円 (△27.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第2四半期	1.21	—
27年8月期第2四半期	△1.72	—

(注) 当社は、平成27年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年8月期第2四半期	14,542	—	7,144	—	49.1	824.35
27年8月期	15,034	—	7,217	—	48.0	832.79

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 7,144百万円 27年8月期 7,217百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
27年8月期	—	10.00	—	5.00	—	—
28年8月期	—	5.00	—	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	5.00	—	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,860	11.9	380	—	420	228.7	220	607.6	25.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年8月期2Q	9,689,200 株	27年8月期	9,689,200 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年8月期2Q	1,022,902 株	27年8月期	1,022,902 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年8月期2Q	8,666,298 株	27年8月期2Q	9,166,447 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、平成28年3月31日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府による経済政策や日本銀行の金融緩和策を背景に、企業の収益改善や雇用環境の持ち直しが見られる等、緩やかな回復基調が見られましたが、原油価格の下落や株式市場の低迷、中国をはじめとするアジア新興国等の景気の下振れ懸念等、景気の先行きについては依然不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当企業グループは、総合ブライダル「メーカー」としての位置づけを定着させるべく、婚礼衣裳のメーカー機能を軸としてブライダル市場のシェアアップに向け引き続き注力しており、当第2四半期連結累計期間においては新たに次の事業展開を行っております。

平成27年12月に「Scena D' uno (シェーナ・ドゥーノ)」の新作ドレスコレクションを発表いたしました。

平成28年1月には当企業グループの運営式場における美容事業の内製化および一部提携店での美容事業の受託を開始いたしました。

平成28年2月には蜷川実花さんのファッションブランド「M / mika ninagawa (エム / ミカ ニナガワ)」とのコラボレーションドレスの新作を発表いたしました。

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間における事業部門別売上高の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

以下の売上高の数値につきましては、事業部門内及び事業部門間の取引消去後となっております。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	増減	増減率 (%)
ホールセール事業 売上高	1,857	1,819	△37	△2.0
製・商品売上高	1,360	1,296	△64	△4.7
レンタル収入等	496	522	26	5.4
ショップ事業 売上高	3,329	3,385	56	1.7
衣裳等取扱収入	1,873	2,053	179	9.6
製・商品売上高	495	430	△64	△13.1
レンタル収入等	1,378	1,622	244	17.7
リゾート挙式売上高	1,455	1,332	△123	△8.5
式場事業 売上高	1,045	1,488	443	42.4
連結売上高	6,231	6,692	461	7.4

ホールセール事業については、製・商品売上高は受注高減少の影響により引き続き苦戦し、前年同四半期に比べ64百万円減少の1,296百万円となりました。レンタル収入等につきましては、前年同四半期に比べ26百万円増加の522百万円となりました。この結果、ホールセール事業の売上高は前年同四半期に比べ37百万円減少し1,819百万円となりました。

ショップ事業については、引き続き国内インショップ店舗の既存店取扱件数が減少傾向にあるものの、前連結会計年度に新規開業した国内インショップ7店舗の効果や、写真事業が順調に推移した結果、衣裳等取扱収入は前年同四半期に比べ179百万円増加の2,053百万円となりました。リゾート挙式事業については取扱件数、取扱高ともに減少し、リゾート挙式売上高は前年同四半期に比べ123百万円減少の1,332百万円となりました。この結果、ショップ事業の売上高は前年同四半期に比べ56百万円増加し3,385百万円となりました。

式場事業においては、平成27年9月に開業いたしました「ル・センティフォーリア 大阪」(大阪市北区)の新規開業効果により、施行組数が大幅に増加し、施行組数の合計は前年同四半期に比べ150組増加の665組となりました。この結果、式場事業の売上高は前年同四半期に比べ443百万円増加し1,488百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,692百万円(前年同四半期比7.4%増)、営業利益は174百万円(前年同四半期は4百万円)、経常利益は197百万円(前年同四半期比338.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失15百万円)と前年同四半期に比べ増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ448百万円減少し、3,341百万円となりました。これは主に、現金及び預金171百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し、11,200百万円となりました。これは主に、差入保証金90百万円の増加、有形固定資産115百万円の減少によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ491百万円減少し、14,542百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ47百万円増加し、3,484百万円となりました。これは主に、短期借入金310百万円、未払法人税等84百万円の増加、買掛金51百万円、1年内償還予定の社債97百万円、1年内返済予定の長期借入金66百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ466百万円減少し、3,913百万円となりました。これは主に、リース債務82百万円の増加、長期借入金572百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ418百万円減少し、7,398百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ73百万円減少し、7,144百万円となりました。これは主に、利益剰余金32百万円、為替換算調整勘定40百万円の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は49.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが558百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが162百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが485百万円の支出となり、この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)期末残高は、1,314百万円(前年同四半期は1,016百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は558百万円(前年同四半期比306.9%増)となりました。これは主に、減価償却費316百万円、未払消費税の増加54百万円の収入があった一方で、売上債権の増加91百万円、差入保証金の増加122百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は162百万円(前年同四半期は600百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得238百万円、有形固定資産の除却15百万円の支出があった一方で、定期預金の払戻78百万円、建設協力金の回収18百万円の収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は485百万円(前年同四半期は332百万円の収入)となりました。これは、長期借入金の返済639百万円、社債の償還97百万円、配当金の支払43百万円の支出があった一方で、短期借入れによる310百万円の収入によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成27年9月30日発表の業績予想を変更しておりません。

なお、当企業グループにおいては、事業の性質上、第1四半期(9月から11月)及び第3四半期(3月から5月)の婚礼シーズン時期に、売上高、利益が偏重する傾向があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,486,020	1,314,711
受取手形及び売掛金	943,598	962,472
商品及び製品	187,179	185,136
仕掛品	158,728	158,802
原材料	217,154	215,519
貯蔵品	100,601	91,701
繰延税金資産	186,569	181,846
その他	517,902	244,813
貸倒引当金	△7,405	△13,356
流動資産合計	3,790,350	3,341,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,885,458	7,832,364
減価償却累計額	△3,236,043	△3,413,963
建物及び構築物(純額)	4,649,415	4,418,400
機械装置及び運搬具	474,727	471,025
減価償却累計額	△322,510	△339,239
機械装置及び運搬具(純額)	152,216	131,785
工具、器具及び備品	856,580	860,856
減価償却累計額	△677,686	△705,730
工具、器具及び備品(純額)	178,893	155,126
リース資産	—	114,684
減価償却累計額	—	△11,468
リース資産(純額)	—	103,215
レンタル衣裳	593,372	533,255
減価償却累計額	△312,361	△282,306
レンタル衣裳(純額)	281,010	250,949
土地	2,556,539	2,548,339
建設仮勘定	4,294	98,820
有形固定資産合計	7,822,370	7,706,637
無形固定資産		
借地権	40,962	37,807
のれん	50,823	33,882
その他	7,756	7,756
無形固定資産合計	99,542	79,446
投資その他の資産		
投資有価証券	26,496	26,756
保険積立金	271,131	280,909
差入保証金	2,563,969	2,653,995
繰延税金資産	43,104	46,179
その他	496,248	480,216
貸倒引当金	△78,990	△73,350
投資その他の資産合計	3,321,961	3,414,707
固定資産合計	11,243,874	11,200,791
資産合計	15,034,224	14,542,438

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	358,800	307,683
短期借入金	300,000	610,001
1年内償還予定の社債	180,000	82,500
1年内返済予定の長期借入金	1,230,625	1,163,834
リース債務	5,267	29,808
未払法人税等	51,442	135,545
賞与引当金	102,320	142,723
その他	1,209,088	1,012,806
流動負債合計	3,437,545	3,484,901
固定負債		
長期借入金	3,455,538	2,882,776
リース債務	22,997	105,448
役員退職慰労引当金	507,461	515,716
繰延税金負債	74,827	78,383
資産除去債務	234,080	231,184
その他	84,572	99,966
固定負債合計	4,379,477	3,913,475
負債合計	7,817,023	7,398,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,071,590	1,071,590
資本剰余金	1,228,876	1,228,876
利益剰余金	5,201,683	5,168,833
自己株式	△623,327	△623,327
株主資本合計	6,878,822	6,845,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,608	2,319
為替換算調整勘定	335,769	295,769
その他の包括利益累計額合計	338,378	298,088
純資産合計	7,217,201	7,144,061
負債純資産合計	15,034,224	14,542,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
売上高	6,231,393	6,692,728
売上原価	2,216,064	2,341,851
売上総利益	4,015,329	4,350,877
販売費及び一般管理費	4,010,525	4,176,185
営業利益	4,803	174,691
営業外収益		
受取利息	1,154	6,050
受取配当金	117	45
受取賃貸料	14,929	9,155
受取手数料	9,743	11,249
為替差益	—	426
貸倒引当金戻入額	16,688	—
助成金収入	14,442	783
その他	16,958	11,574
営業外収益合計	74,035	39,285
営業外費用		
支払利息	14,233	12,995
為替差損	16,870	—
その他	2,718	3,488
営業外費用合計	33,821	16,484
経常利益	45,017	197,492
特別利益		
固定資産売却益	5	676
固定資産受贈益	13,644	—
特別利益合計	13,649	676
特別損失		
固定資産売却損	58	5,100
固定資産除却損	6,319	1,835
減損損失	—	14,880
特別損失合計	6,377	21,815
税金等調整前四半期純利益	52,289	176,353
法人税、住民税及び事業税	59,213	160,530
法人税等調整額	8,841	5,342
法人税等合計	68,055	165,872
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,765	10,481
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,765	10,481

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,765	10,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	609	△289
為替換算調整勘定	215,663	△40,000
その他の包括利益合計	216,273	△40,289
四半期包括利益	200,507	△29,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,507	△29,808
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	52,289	176,353
減価償却費	299,099	316,356
減損損失	—	14,880
のれん償却額	16,941	20,713
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,688	311
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,460	41,214
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,790	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,491	8,255
受取利息及び受取配当金	△1,272	△6,096
支払利息	14,233	12,995
固定資産売却損益(△は益)	52	4,423
固定資産除却損	6,319	1,835
固定資産受贈益	△13,644	—
売上債権の増減額(△は増加)	178,386	△91,834
たな卸資産の増減額(△は増加)	67,546	3,399
レンタル衣裳の増減額(△は増加)	△45,675	33,850
差入保証金の増減額(△は増加)	△156,063	△122,159
仕入債務の増減額(△は減少)	△75,909	△47,789
未払消費税等の増減額(△は減少)	△76,586	54,882
その他	84,236	222,766
小計	301,505	644,358
利息及び配当金の受取額	1,286	983
利息の支払額	△14,636	△13,065
法人税等の支払額	△151,011	△74,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	137,143	558,019
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△51,407	△2,460
定期預金の払戻による収入	—	78,565
有価証券の償還による収入	10,000	—
投資有価証券の取得による支出	△10,669	△686
有形固定資産の取得による支出	△261,292	△238,798
有形固定資産の売却による収入	321	8,000
有形固定資産の除却による支出	—	△15,438
貸付金の回収による収入	700	400
建設協力金の支払による支出	△288,000	—
建設協力金の回収による収入	—	18,120
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△10,175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△600,347	△162,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	961,600	310,001
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△539,888	△639,553
社債の償還による支出	△97,500	△97,500
リース債務の返済による支出	—	△14,887
自己株式の取得による支出	△134	—
配当金の支払額	△91,979	△43,074
財務活動によるキャッシュ・フロー	332,097	△485,014
現金及び現金同等物に係る換算差額	34,985	△4,867
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△96,121	△94,335
現金及び現金同等物の期首残高	1,112,798	1,409,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,016,677	1,314,711

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

重要性が乏しいため記載を省略しております。